|  |
| --- |
| ここに示している様式は一例であり、より重点化したり、より端的に記載したりすることも考えられます。目標に照らして観点別の評価を行う上で必要な要素が盛り込まれていれば、語順や記載の仕方等は必ずしも例示の通りである必要はありません。 |

第〇学年生活科　学習指導案

単元の内容や時間のまとまりを見通して、授業をデザインします。

指導者　　＊＊　＊＊

１　単元名　　　＊＊＊＊＊＊

２　本単元の目標

　　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊。

生活科では、知識及び技能と思考力、判断力、表現力等に「基礎」が付きます。

※１文で表さない場合は

（１）＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊　（知識及び技能の基礎）

（２）＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊（思考力、判断力、表現力等の基礎）

（３）＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊　　（学びに向かう力、人間性等）

３　単元の評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊ | ・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊ | ・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊本単元の目標を基に、「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」（国立教育政策研究所）を参考に作成します。 |

４　単元について

(1)～(3)と項立てしないで、段落ごとに書いてもかまいません。

（１）教材観

単元のねらいと内容(1)~(9)や他学年や他教科との関連を入れて、単元構想の意図について記述します。

（２）児童観

本単元につながるこれまでの学び、生活経験や既習内容などの実態調査（できるだけ数値化したもの）から、本単元において児童に身に付けたい資質・能力などを記述します。

（３）指導観

児童観に書かれた課題を受け、単元のねらいに迫るための指導上の手立てを記述します（カリキュラム・マネジメントを意識した手立てなども入れていけると、なおよいでしょう）。

５　単元の指導計画（例：５時間扱い）　**○は指導に生かす評価場面、◎は記録に残す評価場面**

育成したい資質・能力や主体的・対話的で深い学びに関わる**主な活動**を記入します。**（※１）**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 次 |  | 時 | 学習内容・活動 | 知技 | 思 | 態 | 評価及び評価方法等 |
| １ |  | １２ |

|  |
| --- |
| めあて |

・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊その時間に育成する資質・能力を達成するためのめあてを設定します。観点別の学習状況についての評価は、毎回の授業ではなく単元など**内容や時間のまとまりごと**に、それぞれの実現状況を把握できる段階で行うなど、評価する場面を精選することが重要です。

|  |
| --- |
| まとめめあてとまとめが正対していることが重要です。本時の学習によって得られた気付き等を共有します。 |

|  |
| --- |
| 振り返り本時の学習やまとめ等を通して、分かったこと、気付いたこと、できるようになったこと、思ったことなどを本時のめあてに沿って振り返ります。 |

  | ○ | ○指導に生かす評価場面は、単元の評価規準を（１時間ごとや）まとまりに落とし込み、何について見取るのかを具体で表すと共に、Ｃと判断される児童についての手立てを示します。 | ○ | 知：（◎記録に残す評価場面までにこの段階では何を理解しているとよいのか）について見取り、理解していない児童には（理解できる様にするための手立て）を講じる｡　　【ワークシート、観察】態：（学習活動に向かっているか）について見取り、向かっていない児童には、(活動に向かうための手立て）などの指導を行う。【観察】 |
| ２ |  | ３ |

|  |
| --- |
| めあて |

・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

|  |
| --- |
| 振り返り |

 | 〇本時の内容によっては、まとめを行わず振り返りのみになる場合もあります。 |  |  | 知：（◎記録に残す評価場面までに、この段階では何が身に付いているとよいのか）について見取り、身に付いていない児童には（身に付けるための手立て）を講じる｡【ワークシート、行動観察】  |
|  | ４本時 | **目標：＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊**本時の目標をゴシック体・太字で記述します。１　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

|  |
| --- |
| めあて |

２　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊ ・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊３　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊正対します。・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊４　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊まとめが評価に結び付くようにします。

|  |
| --- |
| まとめ |

５　＊＊＊＊＊＊＊＊＊ ・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

|  |
| --- |
| 振り返り |

 | ◎ | ○ | めあて、記録に残す評価(◎)、まとめは、関連していることが重要です。 | 本時には、指導上の留意点を記述します。**（※２）**思：（◎記録に残す評価場面までに、この段階では思考・判断・表現しているとよいのか）について見取り、できていない児童には（できるようにするための手立て）を講じる｡　　【ワークシート】安全上の配慮事項があれば示します。　　　　　・～する。知：～している。【ワークシート、小テスト】 |
| ３ |  | ５ |

|  |
| --- |
| めあて |

・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

|  |
| --- |
| まとめ |

|  |
| --- |
| 振り返り |

 |  | ◎ | ◎ | 思：～している。【ワークシート】態：～しようとしている。【ワークシート、活動の様子】単元の最後なので、本時のまとめとともに、単元を通して何を学んだか、児童が振り返る時間を設けます。 |

**※１**　指導計画は、単元のまとまりを見通し作成します。したがって、学習内容・活動の欄には、その時間に育成したい資質・能力や主体的・対話的で深い学びに関わる主な活動を入れます。

**※２**　授業公開等を行う場合は、「本時」について、学習内容・活動を詳しく示したり、評価及び評価方法等の欄に配慮事項を加えたりするとよいでしょう。

**※３**　各時間における評価では、多くても１～２項目程度が現実的です。２項目を設定する場合は、知識・技能を身に付ける過程において主体的に取り組む態度を見取ったり、思考・判断・表現を身に付ける過程において主体的に取り組む態度を見取ったりする場合が考えられます。